

内燃機関を原動力とする発電設備 概要表

項目		良	否
設 備 種 別	☐ 低圧発電 ☐ 高圧発電		
工 事 種 別			
設 置 場 所	☐ _____ 階 ☐ 屋上 ☐ 屋外		
電 圧	☐ 105 ☐ 210 ☐ 415 ☐ 6,600 ☐ その他 _____ V		
出 力	出力容量 _____ k V A × 力率 _____ = _____ k W		
キュービクル該否	☐ 該当 ☐ 非該当		
非 常 電 源 該 否	☐ 該当 ☐ 非該当		
熱 源 区 分	☐ 灯油(軽油) ☐ 重油(特A重油含む) ☐ その他の液体燃料 ☐ 都市ガス ☐ L P ガス ☐ その他の気体燃料		
消 火 設 備			
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐 火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃) 天 井 (☐ 耐 火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃) 開口部 (☐ 防火戸 ☐ 特定防火設備の防火戸) 換 気 ☐ 自然換気 (☐ F D 付) ☐ 機械換気 (ダクト ☐ F D 付 ☐ 耐火被覆) ケーブル等の貫通部 (☐ 大臣認定 ☐ 不燃区画 ☐ その他 _____)		
電 気 方 式	☐ 発電専用 ☐ 発電 + 熱供給 ☐ その他発電		
機 器 種 別	☐ ガソリン発電 ☐ ディーゼル発電 ☐ ガス発電 ☐ ガスタービン発電 ☐ その他の発電		
設 備 概 要	型式番号 _____ 冷却水のタンク容量 _____ L 運転可能時間 _____ 時間 燃料タンク容量(メインタンク _____ L + サービスタンク _____ L) 1 時間当たりの燃料消費量 _____ L 運転可能時間 _____ 時間 始動方式 ☐ 蓄電池設備方式(キュービクルの該否 ☐ 該 ☐ 否) ☐ 空気始動 始動用不足電圧継電器の位置 ☐ 主遮断器の 2 次側 ☐ 防災用低圧変圧器の 2 次側 ☐ その他 _____ コージェネレーション ☐ 有 ☐ 無 運転形態 ☐ 系統独立運転 ☐ 系統連携運転 安全対策 ☐ ガス検知器 (☐ 燃料停止 ☐ 発電停止 ☐ 緊急遮断弁) 容量計算書の添付 ☐ 有 ☐ 無		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S ☐ A ☐ B アンカーボルト _____ φ × _____ 本		
監 視 室 等	☐ 有 ☐ 無		
そ の 他	非常電源の認定番号 _____ 製造者名 _____ ガス専焼発電設備用ガス供給系統評価 (☐ 有 ☐ 無)		

- 備考 1 ☐ 欄は該当するものに☑し、下線部分には該当する内容を記入すること。
- 2 良否欄は、記入しないこと。
- 3 火災予防条例（昭和 56 年条例第 98 号）第 11 条の区画ごとに作成すること。
- 4 キュービクルは「キュービクル式変電設備等の基準」（平成 24 年浦安市消防本部告示第 5 号）に適合したものを該当とする。